

透析センター学会実績

2025 年

<学会・研究会発表>

1. 野澤奏、杉田佳奈、小西修二. LINE 公式アカウントを活用した災害時の連絡手段確立のための取り組み. 日本医療マネジメント学会第 17 回兵庫支部学術集会, 2025.3.1
2. 小柴隆史、内田里緒、小西修二. 維持透析患者の人生会議 (ACP) に関する認識と今後の課題－アンケート調査より－. 日本医療マネジメント学会第 17 回兵庫支部学術集会, 2025.3.1
3. 杉田佳奈、児玉哲也、竹下薫、小西修二. 透析液流量を血流の 2 倍に設定した場合の血液データと経済効果への影響. 第 70 回日本透析医学会学術集会総会, 2025.6.27-29
4. 藤本和仁、松井文、吉村真美、藤城秀梧、竹崎蒼生、野澤奏、上月達矢、吉村美沙、酒澤亞佐美、卯内大輔、松本康平、杉田佳奈、徳田裕介、児玉哲也、竹下薫、小西修二. 透析患者における身体組成に年齢と透析歴が及ぼす影響. 第 36 回兵庫県透析合同研究会, 2025.10.26
5. 藤城秀梧、野澤奏、竹下薫、児玉哲也、杉田佳奈、竹崎蒼生、原田佳奈、大西輝世、柴田一恵、横井昌文、譜久原朝也、小西啓司、小柴隆史、小西修二. 災害時における連絡手段としての LINE 公式アカウントの実践. 第 36 回兵庫県透析合同研究会, 2025.10.26
6. 内田里緒、小柴隆史. 外来透析患者の人生会議 (ACP) に関する意識と今後の課題－ACP に関するアンケート調査を通して考える－. 第 28 回日本腎不全看護学会学術集会・総会, 2025.11.29-30.
7. 山田知穂、小柴隆史. 家族との意向の相違により本人意思に添えなかった一事例の振り返り～ビリーブメントカンファレンスを通して家族ケアを考える～. 第 28 回日本腎不全看護学会学術集会・総会, 2025.11.29-30.
8. 野澤裕子、小柴隆史、白石夕起子. 下肢切断に至った症例から患者の重症化予防行動に影響した要因を考える. 第 28 回日本腎不全看護学会学術集会・総会, 2025.11.29-30.

<その他研究会発表>

1. 野澤裕子. CLTI を地域連携で救う～看護師視点で見る重症下肢虚血肢～. 透析患者の手と足について考えるセミナー in 北播磨. 2025.10.16.
2. 野澤裕子. 透析室で行う CLTI への看護介入. 第 5 回日本フットケア・足病医学会 東海北陸地方会. 2025.11.1.

<論文>

1. 内田里緒、横井昌文、原田佳奈、柴田一恵、大毛豊和、山田知穂、小柴隆史. 拒否的言動のある終末期患者と家族との関わりから考える ACP の必要性. 兵庫県透析従事者研究会会誌 48: 27-29, 2025.
2. 杉田佳奈、小西修二、吉村真美、藤城秀梧、竹崎蒼生、野澤奏、上月達矢、吉村美沙、酒澤亞佐美、藤本和仁、卯内大輔、徳田裕介、松本康平、竹下薫、児玉哲也. 血流量に応じた透析液流量設定による経済効果. 兵庫県透析従事者研究会会誌 48: 9-12, 2025.
3. 吉村美沙、竹下薫、小柴隆史、宮田賢宏、小西修二. 透析患者の栄養評価における CONUT 法の有

用性および検討. 兵庫県透析従事者研究会会誌 48 : 17-20, 2025.

4. 西 慎一. 透析患者の定期検査-その目的と意義そしてコスト. 臨牀透析 41: 783-788, 2025.
5. 西 慎一. 糖代謝に関する定期検査. 臨牀透析 41: 858-862, 2025.
6. 高井 亮. 透析シャントに関する検査. 臨牀透析 41: 984-989, 2025.
7. Seiichiro Usuki, Naoki Okada, Yumiko Takao, Tomoe Fukunaga, Kentaro Iwata, Takashi Nishimoto and Shinichi Nishi. Clinical effects of the oral administration of Astragali Radix extract in patients with chronic kidney disease. Renal Replacement Therapy 11:56, 2005

<雑誌（分担執筆）>

1. 小西修二、小柴隆史. 「透析穿刺&シャントエコーをきわめる」. 透析ケア 2025 年冬季増刊. 2025.